お散歩マップ

"かつら"にゆかりのある場所を歩いてみよう

しらこ保育園カリヨンベル

午前9時に「雀の学校」、正午に「みどりのそよ風」、午後5時に「靴が鳴る」の曲が流れます。

池のある家（跡地）

かつらはひょうたん池のあるこの家に約15年間住んでいました。この家には東京から仲間の作詞家、作曲家達が訪ねて来て文学の話に花を咲かせました。

生誕100年記念碑

歌碑（成増駅北口）「みどりのそよ風」

うたの時計塔（成増駅南口）

午前8時に「みどりのそよ風」、午前10時に「靴が鳴る」、正午に「雀の学校」、午後2時に「あした」、午後4時に「叱られて」、午後6時に「浜千鳥」の曲が流れます。

歌碑「みどりのそよ風」

かつらは、白子小学校で指導をしたことがありました。「みどりのそよ風」はその期間の作品です。いつまでも歌い継がれていくことを願い「みどりのそよ風」を白子小学校の愛唱歌として歌碑を建てました。

白子小学校

清水かつらコーナーがあり、始業終業ベルのかわりに「みどりのそよ風」のメロディーが流れます。

時計塔と歌碑（和光市駅南口）

時計塔は午前8時に「みどりのそよ風」、正午に「靴が鳴る」、午後5時に「叱られて」の曲が流れます。その横には歌碑があります。

和光市総合児童センターカリヨンベル

「叱られて」と「みどりのそよ風」の2曲が流れます。

市民文化センターサンアゼリア

全国「叱られて」歌唱コンクールなど、かつらを顕彰する事業を行っています。

樹林公園時計塔

4月から6月の間、正午に「雀の学校」、午後6時に「叱られて」、10月から12月の間の正午に「靴が鳴る」の曲が流れます。

白子コミュニティセンター

雑誌「少女号」や、日記、写真など、かつらの資料を展示しています。

白子橋

柱に「靴が鳴る」の歌詞があります。またたらんかんには市の花サツキが浮きぼりになっています。

白子橋近くの家（跡地）

1940年に移り住みました。うら庭にはススキやたくさんの野草がしげっていて、自然を愛したかつらが家人に刈らせなかったといいます。